

## 議 事 要 旨（公開用）

- 件 名 令和3年度第1回月形町創生総合戦略審議会
  - 日 時 令和3年8月3日（火） 午後4時30分～6時30分
  - 場 所 月形町役場 大会議室
  - 出席者 委員：12名（別紙のとおり） ※ 欠席：1名  
オブザーバー：空知総合振興局地方創生部2名  
町：堀副町長ほか10名  
※ 町長途中退席
  - 傍 聴 1名
- =====

### 【委嘱状交付】

町長より委嘱状交付

※ 委嘱状は、新型コロナウイルス感染症予防のため、机に事前配置

### 1 開 会

【開会：企画振興課長】

### 2 町長挨拶

【挨拶：上坂町長】

- ・ 連日の真夏日で、月形も観測史上の最高記録を毎日のように更新しており、本当に大変な毎日を過ごされていると思います。併せて、このコロナ禍ということで、昨日から8月31日まで札幌市を中心に自粛生活をしなくてはなりません。本当に大変な日々をお過ごしのところ、また、お忙しところ、このようにお集まりをいただき、重要な審議をしていただけることに感謝を申し上げます。
- ・ 本日は、空知総合振興局の部長をはじめ、お忙しい中、オブザーバーで参加していただき、本当にありがとうございます。
- ・ 雨が降らないということで、町民の方々から「晴れ男もいいけれど、雨男になれ」と、そんな声も聞こえてきております。
- ・ この7月、ついに月形町の人口は3千人を切ってしまいました。国勢調査の速報値でも一番の減少率ということで、本当に辛い状況にあります。そのようなことから、町の最上位計画であります第4次総合振興計画、そして、今日、皆さんにご審議をいただきます第2期創生総合戦略、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。
- ・ 私も2期目の町長の職を昨年9月に町民の皆さんの信任を得ましてスタートしました。

あっという間に1年が過ぎてしまう気がしております。

- ・ 私は、札沼線の廃線、それを契機とした新しい月形のまちづくりの歩みが、20年後、30年後に「この決断が間違いなかった」と言われるよう、毎朝、私と教育長は小学校に通う子どもたちと挨拶を交わしていますけれども、この未来を担う子どもたちのために、しっかり頑張らなくてはならないと思っています。どうぞ、よろしくお願ひしたいと思ひます。

### 3 委員紹介

【説明：企画振興課長】

※ 委員、オブザーバー、町職員の順に紹介

### 4 正副会長の選出について

【会長選出】

【説明：企画振興課長】

- ・ 月形町創生総合戦略審議会条例第5条に基づき、会長を選出

【進行：上坂町長】

- ○ （上坂町長）会長の選出方法について、お諮りします。皆さんからご意見などございましたら、お願ひしたいと思ひます。
- （竹田委員）互選といっても声が出づらい状況だと思います。年長者でもありますので、私の方から推薦させていただいてもよろしいでしょうか。
- （上坂町長）竹田委員より推薦ということで、ご意見がありました。よろしいでしょうか。
- （全員）はい。
- （上坂町長）それでは、皆さん了解のようですので、竹田委員より推薦をお願いします。
- （竹田委員）会長に穴澤委員、副会長に尾崎委員が適任と考え、推薦したいと思ひます。
- （上坂町長）会長に穴澤委員をとということで竹田委員から推薦がありました。併せて副会長の名前も上がりましたが、私の役割としては会長を決めるということで、副会長については、穴澤会長が承認されましたら、その進行で確認を改めて行いたいと思ひます。  
ただ今、穴澤委員を会長にとということで推薦がありました。よろしいでしょうか。拍手をもって確認したいと思ひます。
- （全員）※拍手あり
- （上坂町長）ただ今、満場の拍手がありました。穴澤委員、ご了解いただけるということでよろしいですか。
- （穴澤委員）はい。若輩者で月形に住んで10年くらいです。前回も会長として、この計画の策定をさせていただきました。また、今回もということですので、精一杯させてい

ただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

#### **【副会長選出】**

【進行：穴澤会長】

- ○ （穴澤会長）副会長の選出になります。いかがいたしましょうか。先ほど、竹田委員の方から、副会長も併せてお話をいただきました。先ほどの竹田委員さんのご意見をお伺いするという形で、副会長として尾崎さんということで、皆さんいかがでしょうか。
- （全員）※拍手あり
- （穴澤会長）前回に引き続き、尾崎委員を副会長ということで、よろしくお願いいたします。
- （尾崎委員）はい。

#### **【諮問】**

- ・ 町長より諮問書を読み上げ
- ※ 新型コロナウイルス感染症予防のため、手渡しをせず議案読み上げ
- ※ 諮問後、町長退席

【説明：企画振興課長】

- ・ 月形町創生総合戦略審議会条例第2条に基づく次の事項  
第2期月形町創生総合戦略における令和2年度実績の効果・検証等  
令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果・検証等

## **5 議 事**

【進行：穴澤会長】

- （穴澤会長）戦略及び人口ビジョンの概要とアまで説明をお願いします。

### **(1) 第2期月形町創生総合戦略事業の効果・検証等について**

【説明：企画振興課長】

- 「月形町まちづくり5年計画（概要版）」により制度説明  
1・2・9頁に基づき説明
- ・ 人口ビジョンよりも更に減少が進んでいる状況

### **ア 令和2年度の施策実施状況について**

【説明：企画振興課主幹】

(P-7)

- ・ 第2期月形町創生総合戦略における4つの基本目標の抜粋
- ・ 実施状況
  - 第1期戦略からの「継続事業」 : 27事業
  - 令和2年度から新規に実施した事業 : 6事業

令和2年度に拡充した事業	: 6事業
令和2年度に一部内容を変更して実施した事業	: 2事業
後年度に実施するため令和2年度に内部検討を進めた事業	: 2事業
令和3年度、現在既に新規・拡充し実施している事業	: 4事業
	計 47事業

- ・ 施策事業の一部については、「つきがた暮らしの便利帳」を参照

【質疑・意見など】

- ○ (竹田委員) 9頁です。「観光交流の推進」という項目の中で、いろいろ手を尽くして努力されているのは承知しています。1カ月か2カ月くらい前の北海道新聞の記事だったと思います。観光のお客さん、入込数と言うのでしょうか。空知管内の市町村の中で、私たちのまちはワースト1でした。その辺が少し気になっており、私たちのまちなも樺戸博物館、皆楽公園エリアの整備検討、拠点など、いろいろな整備を検討されているのは承知しています。前年度もワースト2くらいでした。この数字というのが、どこから出てきて、どのような基準によるものなのか分かりません。側から見るとワースト1というのは少しいただけないものですから。分かればお聞きしたいと思っていました。
- (企画振興課長) この数字につきましては、月形町の場合、当課の商工観光係から報告している数値です。皆楽公園の入込、博物館の入館者、例年であれば、夏まつりを開催した際のお客さんの数などの合計です。月形町ともう一つの町で下位を行ったり来たりしています。主に大きく伸びているまちは、道の駅が盛況なところで、毎月、その数値が反映されていきます。そこの分でかなり差があると思います。道の駅のないまちでも、市町村の主催ではありませんが、お祭りの多いまちもあり、新十津川では、陶芸のお祭りや産業祭りがあります。岩見沢もいろいろなお祭りがあります。そのようなところは高い数値が出て上位を占めています。混んでいる道の駅を抱えているまちについては、安定的に伸びているという状況ではないかと思われまます。
- (竹田委員) そういう状況下の中で、私たちが単純に考えるのは、今、いろいろな整備計画をされていますが、これから、どうだろうかと思えます。  
町外のお客さん呼び込むために、そのような施設が必要なのか、本当の町民の憩いの場としていく方がいいのか、その辺の検証をしていただきたいと思っています。
- ○ (谷川委員) 17頁になります。「No.44 (ふれあい見守り推進事業)」で「孤立死 0人」ですが、独居老人はどのくらいいますか。どのくらいいる中で「0人」になっているのか。地域も本当にうれしいですね。見守りサポーターの活動なのか、社会福祉協議会や町内会との連携なのか、どのようにして、このようになっているのかをお聞きしたいと思います。
- (保健福祉課長) 「孤立死 0人」と書かせていただいております。月形町では、社

会福祉協議会さんに事業を委託しております。「ふれあい見守り推進事業」を実施しており、独居の高齢者が 200 人程います。すべてではありませんが、60 世帯弱くらいの世帯に対して、社会福祉協議会の職員、あるいは社会福祉協議会で育成してくださっています見守りサポーターさんが、訪問や電話で見守りをしています。

また、その他に行政区の皆さまにも、町の方からいくらか交付金を出し、行政区の中で見守っていただくというような事業も実施しています。

そのような活動が、皆さま方の孤立死の少なさに繋がっていると思います。孤立死という括りでは「0人」になってはいますが、実は、親子で亡くなっていた事例もな  
くはないもので、今まで以上に近所の見守り、事業として見守り活動を更に推進して  
いかなければならないと考えております。

## イ 重要業績評価指標(KPI)及び本町人口の推移について

### 【説明：企画振興課主幹】

- ・ 計画の最終年度である令和6年度に向け、目標達成を目指す
- ・ 戦略事業として実施しているものを基本的な実績値
- ・ 項目の中で「5年間」とあるものは、単年度の「進捗率」で5分の1の「20%」あれば、順調

### 【基本目標ごとの説明】

- (基本目標1) 産業・雇用の項目
  - ・ 新規就農者が1人あり、新規就農相談件数も伸びている。
  - ・ 「福祉関係事業への新規就業者数」  
「福祉従事者確保維持事業」の実績  
一定程度の利用が進んでいる。
  - ・ 全体  
月形商工会の会員数や農家戸数の減少  
第1期戦略から継続して同様の傾向
- (基本目標2) 移住定住の項目
  - ・ 「町外からの移住者数(5年間)」  
快適な住まいづくり住宅補助金、地域おこし協力隊、若者就業促進家賃補助事業、  
起業支援事業の実績の合計  
毎年、一定程度の利用があり効果も表れている
  - ・ 「観光宿泊者数」及び「観光入込客数」  
新型コロナウイルス感染症関連の影響もあり、減少傾向  
次年度以降4年間の中で回復困難な状況とはなっていない。
  - ・ 「総人口に占める転入者数の割合(5年間平均)」

大きな落ち込みで、今回の戦略の中でも特徴的な部分  
転出者数がそれほど変わらない中で、転入者は2割ほど減少  
特に生産年齢における女性人口の減少が顕著  
割合は、住民基本台帳に登録されている刑務所被収容者分を除く

○ (基本目標3) 子育ての項目

- ・ 近年では比較的多い出生数
- ・ 「再生産年齢(15~49歳)の女性人口」  
転入者減に関連し、1割以上の大幅な減少  
長期的にみたとき、今後の出生数や地域経済などへの影響を懸念

○ (基本目標4) 暮らしの項目

- ・ 「総人口に占める転出者数の割合(5年間平均)」  
大きな変化はなく、転出への歯止めがかかっていない状況  
割合は、住民基本台帳に登録されている刑務所被収容者分を除く

○ 全体

- ・ 「アンケート未実施」  
令和7年度を始期とする総合振興計画の策定作業に合わせて、令和5年度に「まちづくりアンケート」を実施予定
- ・ 一部施策の効果は表れているものの、全体の流れを変える状況にはなっていない。
- ・ 生産年齢人口における女性の減少割合が著しく、これらへの対応を早期に行うことが、将来の出生数や地域経済への影響を最小限に抑えることにつながるのではないかと考える。

【本町の人口推計】

- ・ 戦略目標値の急激な変化については、人口ビジョンの改訂によるもの
- ・ 「再生産年齢(15~49再)の女性人口」における転入の減少あり  
各事業所の雇用状況など、関連するものや気が付くことがあれば参考にさせていただきたい。
- ・ 現在、過疎地域持続的発展計画を策定中  
パブリックコメントの中で、人口減少に関連する意見あり  
「心の過疎に陥らないよう、協働のまちづくりが必要」との趣旨の意見あり  
人口減少だけをとって悲観せず、心の豊かさや楽しさなども重要であると考えている。

【質疑・意見など】

- ○ (穴澤会長) 特に総括の中で出ていた「再生産年齢の女性人口(15~49歳)における転入の減少が著しく」ということが数値上では出ています。皆さんのところで実感されることや思い当たる点なども含めて、お話をいただければと思いますが、いかが

でしょうか。

- （穴澤会長）なんとなくこういうことも想定できるのではないだろうかというようなことでも。

## （2）第2期月形町創生総合戦略の変更について

【説明：企画振興課主幹】

（P-27）

- ・赤字の部分が変更箇所
- ・月形高校の今年度から実施している特例校に関連して、新たなKPIを設けたい
- ・特例校を維持するため、毎年、20名の入学者を確保するという目標
- ・第2期戦略の策定年である令和元年度を基準値に設定  
令和3年度の入学者数は11名で、非常に厳しい状況が続いている。

- ・KPIの設定に合わせて、「基本方針」の内容も赤書きのとおり変更

（P-26）

- ・今回の計画変更に併せて、事業名で「仮称」となっていたものを正式名称とする。

【質疑・意見など】

なし

## （3）令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果・検証等について

【説明：企画振興課主幹】

- ・地方創生に関連し今回、効果・検証を依頼
- ・本交付金  
令和2年4月7日に閣議決定  
5月1日に国の交付金要綱が制定
- ・本町4月15日の補正予算後、早期に事業を開始  
その後も必要な事業について、5月、6月、8月補正予算など、早期の執行を心がけ
- ・交付金  
合計：2億2,061万8千円  
補助率は100%で、全額国からの交付金  
交付金の全額活用のため、執行率などを加味して予算編成し、一般財源など町の持ち出しは300万円程度

【質疑・意見など】

- ○（谷川委員）まちづくり5年計画のパブリックコメントを実施し、どのような意見があり、どのように押さえているかを聞きたい。

先ほどの人口の推移の説明の中で、最後に発展計画に対する協働のまちづくりの説明で、心豊かな何とかと聞こえたが、その後、どのように説明されたか聞きたい。

公募委員が、ご案内いただいたときに空白で、今回も空白になっている。これは大事

なまちを左右する審議会ですから、そのような意味では、公募委員をどのように募集したのか、どのような呼びかけを町民にしたのかをお聞きしたい。個人的な意見ですが、2年間の委員ですから、これから公募委員を募集してもいいのかなと思う。無理な意見かもしれませんが、我々、お願いや依頼された委員は、精一杯頑張っています。しかし、地域創生というのは、地域の自治体や地域の住民が「自分たちの地域づくりをどうするか」ということ。東京一極集中ではなくて、それぞれの地域で、国の政策として提案された事業ですよ。そのような意味を考えると、やはりここに住んでいる町民が、心豊かに何とかという説明がありましたけれども、町民もいろいろな意見があるような気がします。町民の直接の声をね。これは、どうしても行政計画ですから、こういう経過になってしまいます。やはり、これからの地域創生は、地域住民がしっかりと考えて行動する。そして、最終的には「住み続けたい月形をどうするか」ということを町民が考える。人口は減っていくかもしれない、しかし、その中でもいきいきと心豊かに、先ほども孤独死がないということに感動しました。こんなすばらしいまちはないと思うんですよ。やはり、地域のコミュニティができてきているような気がしています。そのような意味で、少しその経過等について聞きたいと思い、最後にお聞きしました。

- （企画振興課主幹）まちづくり5年計画ですけれども、こちらにつきましては、総合振興計画と総合戦略を併せたものをまちづくり5年計画と称して、概要版として作製させていただきました。実際に行ったパブリックコメントにつきましては、総合振興計画、総合戦略、それぞれについてパブリックコメントを行ってございます。総合振興計画についてのパブリックコメント1件だったかと思います。SDGsの関連で、総合振興計画のある事業が他のSDGsにも関連するというので、そのような関連付けをした方がいいのではないかというご意見でした。その意見を基に、関連があるということで、その事業をSDGsの関連付けをさせていただいた経緯がございます。

先ほどの人口の推移の中でご説明させていただきました過疎地域持続的発展計画を現在、策定しています。こちらにつきましては、全道で8割ほどが過疎の対象になっていると思いますが、その策定作業を進めています。このパブリックコメントの中で、住民の方より1件意見がありました。その中では「心の過疎に陥らないよう、協働のまちづくりを進める必要がある」というような趣旨のパブリックコメントがありました。人口減少に関連するというので、「心の過疎に陥らない」ということを踏まえると、「心の豊かさ」なども重要であると私たちも考えているところであります。

それから、公募委員の募集ですけれども、こちらにつきましては、1カ月程度の公募をホームページと全戸に設置されているIP告知端末で行っています。IPにつきましては、複数回、4から5回くらい周知をさせていただきました。

公募委員の補充の関係につきましては、別途検討させていただきたいと思います。

- （穴澤会長）皆さんからのご質問・ご意見等については、以上にしたいと思います。

- ○ (穴澤会長) 最後に空知総合振興局の部長様よりアドバイスなどをお願いします。
- (空知総合振興局部長) お疲れ様です。先ほどからご意見、議論を聞いていまして、創生総合戦略のご説明にもありましたが、平成 27 年に国の政策で全国の各市町村が作成し、都道府県も作成している計画でございます。その 1 期目が平成 27 年から令和元年までと、2 期目が令和 2 年から令和 6 年までということで、それぞれ各地域で、今、まさに取り組みをしているところでございます。その 2 期目の計画のときに、残念ながらコロナということで、大きな感染症の経過がございまして、取り組みがなかなか進まない事業もあると思います。先ほど、谷川先生も申していましたとおり、これまでの行政が作る計画と違って、策定段階から多くの住民やいろいろな分野の方が携わって、この計画を進めているところでございます。まさに、これからの新しいまちづくりというのが、この地方創生総合戦略ということになるかと思えます。冒頭の町長のご挨拶にもございましたけれども、この計画が 20 年後、30 年後の月形町に住む方々にとって、「間違っていなかった」、「いい計画だった」、「いいまちづくりだった」と言われるように進められることをご期待申し上げるとともに、道としても、地方創生に向けて取り組みを進めていますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。

#### (4) その他

##### 【説明：企画振興課主幹】

- ・ 今年度の開催予定  
現在のところは予定なし  
新年度の予算に関連して、総合戦略の変更等が必要になる場合は、別途、審議会の開催についてご案内をさせていただきたい。

## 6 閉 会

##### 【説明：企画振興課長】

- ・ 今回、諮問という形を取らせていただきました。
- ・ 平成 27 年度より毎年実施している答申につきましては、会長が町長に答申という形をとらず、本日の審議でご了解をいただいたという形をとらせていただきたいと思います。
- ・ 人口減少になかなか歯止めがかからない状況であります。本戦略については、行政としても、柔軟に変更していくべきであろうと考えていますので、その折には、また、お集まりいただいて、ご意見をいただきたいと思いますと考えております。

(終了：午後 6 時 30 分)

令和3年度 月形町創生総合戦略審議会委員名簿

■任期：R03.08.03～R05.08.02

(R03.08.03現在)

No	役職	氏名	所属等	出欠 (8/3)	備考
1		竹田 紘一	月形町行政区連絡会議 議長	○	3-2(1)
2		福井 誠	月形町農業協同組合 専務理事	○	3-2(1)
3		廣野 いづみ	月形商工会女性部 部長	○	3-2(1)
4		目黒 隆紀	月形町教育委員会 委員	○	3-2(1)
5		尾崎 美世子	月形町社会福祉協議会 事務局長	○	3-2(1)
6		稲上 巧	(株)北海道銀行月形支店 支店長	○	3-2(2)
7		平畑 輝彦	北海道信用金庫月形支店 支店長	○	3-2(2)
8		谷川 松芳	北翔大学 非常勤講師	○	3-2(2)
9		新村 喜代美	月形町民生委員児童委員協議会 委員	○	3-2(2)
10		山下 正志	月形町子ども・子育て会議 会長	○	3-2(4)
11		高島 雄大	町への移住者	×	3-2(4)
12		高橋 宏城	つきがた友朋の丘 主任	○	3-2(4)
13		穴澤 義晴	特定非営利活動法人コミュニティワーク研究実践センター月形事業所 そらち生活サポートセンター 所長	○	3-2(4)